様式３(2020.08改)

作成日　令和 5年 4 月 10日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601150
事業所名	グループホームファミリア植田

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	法人の理事が町内会に加入しており、町内の会議にも出席している。ホームに関係のある情報は報告があり、回覧板でも情報を得ている。本年度はコロナ禍にあり、地域行事の参加や運営推進会議の声掛けも見合わせている。コロナの状況を確認しながら近隣の散歩や公園で行き交う方との挨拶を交わし地域の一員としての繋がりを大切にしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	入居者や家族、民生委員、包括支援センター職員、事業所職員の参加を得て2か月に1回開催しているが、コロナ禍においては状況を確認しながら職員、入居者や家族の出席により対面での開催や書面開催をしている。電話やアンケートで寄せられた家族からの意見は話し合い、運営やサービスに活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	コロナ禍ではあるが、業務上必要な介護計画の更新や申請の代行業務は担当窓口を訪れている。現在は電話やメール、封書でのやり取りをしながら役所や包括支援センターとの連携を取り良好な関係の継続に努めている。市の研修会の実施は無いが、職員は機会があれば自主的に研修会に参加をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者からは日々のケアの中で会話や行動から思いや意向を聞きケアに繋げている。家族からはコロナの状況を確認しながら、面会時や電話などで意見を聞き、運営やケアに活かしている。毎月の「ふぁみりあだより」に行事の様子の写真やコメントを添えたり、施設からのお知らせなど情報を記載して家族に安心を届けている。ご意見箱を設置している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

今年度もコロナ禍のため、地域との交流や外出などは自粛している。運営推進会議や面会などは、コロナ感染症の状況を確認しながら柔軟な対応をしている。外出は隣接する公園や近隣の神社にお花見に出掛けるなど四季を感じられる外出支援に努めている。今後は、コロナの感染状況や法人、行政の動きを見ながら検討していく方向にある。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○								